

「下関市立地適正化計画の一部見直し（案）」に対するパブリックコメント実施結果

1. 実施期間

令和6年1月15日(月曜日)から令和6年2月14日(水曜日)まで

2. 意見応募状況

意見応募者 2人

意見件数 4件

3. 意見の要旨と市の考え方等

番号	項目	意見の要旨	市の考え方又は対応
1	全体	直下型地震（活断層型地震を含む）による、耐震性（土砂災害や、液状化）についても長期的視点から取り上げられることを検討されたい。	令和6年1月に発生した能登半島地震により、深刻な被害が生じたことを受け、下関市立地適正化計画の防災指針において「地震」についても加筆を予定しております。
2	5.2 災害リスク分析 5.3 取組方針 5.4 具体的な取組、スケジュール、目標値の検討	ハザードマップを見ても分かるように、吉見の辺りは最大で3mの浸水が予測されています。しかし、避難する場所も浸水する所になっていますので、垂直避難ができる建物を作ってほしいです。	吉見地区では、吉見公民館ほか8施設を避難所として指定しております。なお、これらの避難所につきましては、立地場所の地盤の高さ等の条件から、高潮や津波、洪水などの災害種別ごとに、対応可能な避難所を順次開設することとしております。 吉見地区で最大3mの浸水が想定されるのは、「高潮」による浸水です。高潮時には、例えば、吉見公民館、吉見小学校、水産大学校、吉見体育館などが順次開設されますので、近い避難所へ避難していただくこととなります。
3	5.4 具体的な取組、スケジュール、目標値の検討	「防災リーダーの養成」については、早くそして長く続けてほしいです。	出前講座等を活用した防災教育の推進等に併せ、防災リーダーの養成に努めてまいります。
4	5.3 取組方針 5.4 具体的な取組、スケジュール、目標値の検討	高齢者の多い地域では、分かりやすい避難方法や避難先を常に情報として教えてあげてほしいです。（ハザードマップだけを見ても、危機感が分からない）	自治会等からの要請に応じて、災害に備えた避難方法や避難先、ハザードマップの見方等に関する出前講座等を実施しておりますので、是非ご活用いただきたいと考えております。